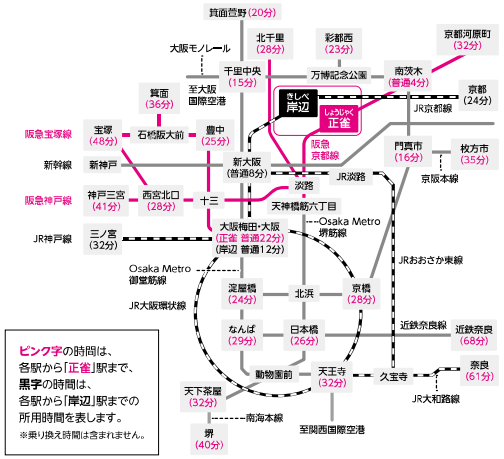
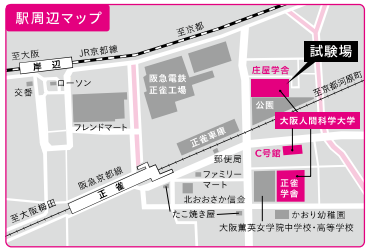
ACCESS MAP

最寄り駅から大学まで

- 阪急京都線「正雀（しょうじゃく）」駅から徒歩5分
- JR京都線「岸辺（きしべ）」駅から徒歩10分



ピンク字の時間は、各駅から「正雀」駅まで、**黒字**の時間は、各駅から「岸辺」駅までの所用時間を表します。
※乗り換え時間は含まれません。



「庄屋学舎」までのアクセス

入試情報はコチラ

OC情報はコチラ

成長に、本気。
大阪人間科学大学

〒566-8501 大阪府摂津市正雀1-4-1 TEL.06-6318-2020（入試広報センター）　https://www.ohs.ac.jp/

Osaka University of Human Sciences

令和７年度（2025年度）

３年次編入学 学生募集要項

人間科学部

社会福祉学科

子ども教育学科

心理学部

心理学科

学校法人 薫英学園
大阪人間科学大学

人間科学部

社会福祉学科

※1　コースは入学後に選択します。
※2　介護福祉士　国家試験受験資格及びスクールソーシャルワーカー資格は3年次編入学で取得することはできません。
※3　社会福祉士　国家試験受験資格、精神保健福祉士　国家試験受験資格の両方の取得を希望する場合は、原則として3年間の在学が必要となります。
※4　精神保健福祉士　国家試験受験資格は最大40名取得可能です。
※5　児童福祉司任用資格取得には卒業後指定施設での実務経験（1年間）が必要ですが、社会福祉士国家試験若しくは精神保健福祉士国家試験に合格している場合は実務経験が不要となります。

社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験受験資格が取得可能。

社会福祉コース

幅広い福祉の専門知識・技術を学び、社会福祉士を目指す。

●社会福祉士　国家試験受験資格

精神保健福祉コース

精神障がいの専門知識や援助技術を学び、精神保健福祉士を目指す。

●社会福祉士　国家試験受験資格　●精神保健福祉士　国家資格受験資格

全コース共通

●社会福祉主事任用資格　●児童福祉司任用資格
●身体障害者福祉司任用資格　●知的障害者福祉司任用資格

専門教育科目の課程表　社会福祉学科

	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択
専門科目	社会福祉の原理と政策Ⅰ		2
	社会福祉の原理と政策Ⅱ		2
	ソーシャルワーク演習		1
	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ		1
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		2
	ソーシャルワークの基盤と専門職	2	
	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）		2
	高齢者福祉論		2
	障害者福祉論		2
	心理学と心理的支援		2
	福祉フィールドワーク		1
	介護技術入門		1
	福祉とセクシャリティ		2
	コミュニティ活動論		2
	権利擁護を支える法制度		2
	児童・家庭福祉論	2	
	刑事司法と福祉		2
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ		2
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ		2
	社会保障論Ⅰ		2

	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択
専門科目	社会保障論Ⅱ		2
	貧困に対する支援		2
	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ		2
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ		2
	社会福祉史		2
	精神医学と精神医療Ⅰ		2
	精神医学と精神医療Ⅱ		2
	社会福祉調査の基礎		2
	家庭支援論		2
	保健医療と福祉		2
	福祉サービスの組織と経営		2
	社会福祉特論Ⅰ		2
	社会福祉特論Ⅱ		2
	ケアマネジメント論		2
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		2
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		1
	ソーシャルワークⅠ		2
	ソーシャルワークⅡ		2
	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ		1
	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ		1

	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択
専門科目	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ		1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		1
	ソーシャルワーク実習		6
	精神保健福祉の原理Ⅰ	2	
	精神保健福祉の原理Ⅱ		2
	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ		2
	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ		2
	精神障害リハビリテーション論		2
	精神保健福祉制度論		2
	精神保健福祉援助演習Ⅰ		1
	精神保健福祉援助演習Ⅱ		1
	精神保健福祉援助演習Ⅲ		1
	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		1
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		1
	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ		1
	精神保健福祉援助実習		5
	スクールソーシャルワーク論		2
	人間関係Ⅱ		2
	高齢者支援論		2

	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択
専門科目	医学一般Ⅰ		2
	医学一般Ⅱ		2
	医学一般Ⅲ		2
	介護概論Ⅰ	2	
	介護概論Ⅱ		2
	介護概論Ⅲ		2
	生活科学概論		2
	認知症の理解Ⅰ		2
	認知症の理解Ⅱ		2
	認知症の理解Ⅲ		2
	障害児・者介護		1
	介護保険事務		2
	福祉用具の理論と実践		2
	社会福祉学演習Ⅰ	4	
	社会福祉学演習Ⅱ	4	

※カリキュラムは変更となる場合があります。
※介護福祉士　国家試験受験資格及びスクールソーシャルワーカー資格は３年次編入学で取得することはできません。

人間科学部

子ども教育学科

※1　小学校教諭一種免許状及び児童厚生一級指導員は3年次編入学で取得することはできません。
※2　保育士資格又は幼稚園教諭一種免許状の取得を希望する場合は、原則として3年間の在学が必要となります。

保育者養成に特化したカリキュラムに、豊富な実習環境。
実践力と専門知識を持つ保育士、幼稚園教諭、保育教諭へ。

保育士・幼稚園教諭コース

保育所や幼稚園、認定こども園で行われる就学前の保育、幼児教育について、学びを専門的に深め、保育士、幼稚園教諭を目指す。

●保育士資格（国家資格）　●幼稚園教諭一種免許状　●社会福祉主事任用資格

専門教育科目の課程表　子ども教育学科

	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択
専門科目	教育社会学	2	
	教育心理学（幼・小）	2	
	学習・発達論	2	
	特別な支援を要する子どもの理解Ⅰ	1	
	特別な支援を要する子どもの理解Ⅱ	1	
	教育相談の理論と方法	2	
	保育・教職実践演習（幼・小）	2	
	日本国憲法	2	
	教育原理（幼稚園）	2	
	教職概論（幼稚園）	2	
	幼児教育課程論	2	
	教育方法論	2	
	幼児理解の理論と方法	2	
	幼児体育Ⅰ	1	
	幼児体育Ⅱ	1	
	人間関係	2	
	環境	2	
	言葉	2	

	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択
専門科目	かたちの表現Ⅰ	1	
	かたちの表現Ⅱ	1	
	音楽と表現Ⅰ	1	
	音楽と表現Ⅱ	1	
	保育内容総論	1	
	子どもと健康	1	
	子どもと人間関係	1	
	子どもと環境	1	
	子どもと言葉	1	
	子どもと表現Ⅰ	1	
	子どもと表現Ⅱ	1	
	遊びの実践法Ⅰ	2	
	遊びの実践法Ⅱ	2	
	子どもと文化		2
	音楽器楽Ⅰ		1
	音楽器楽Ⅱ		1
	地域と子ども学		2
	教育実習指導Ⅰ（幼稚園）		1

	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択
専門科目	教育実習指導Ⅱ（幼稚園）		1
	教育実習（幼稚園）		4
	保育実習Ⅰ		4
	保育実習指導ⅠA		1
	保育実習指導ⅠB（施設）		1
	保育実習指導ⅠB（保育所）		1
	保育実習Ⅱ		2
	保育実習指導Ⅱ		1
	保育原理		2
	子ども家庭福祉		2
	社会福祉		2
	子ども家庭支援論		2
	社会的養護Ⅰ		2
	社会的養護Ⅱ		1
	保育者論		2
	保育の心理学		2
	子ども家庭支援の心理学		2
	子どもの保健		2

	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択
専門科目	子どもの食と栄養Ⅰ		1
	子どもの食と栄養Ⅱ		1
	ことばの表現Ⅰ		1
	ことばの表現Ⅱ		1
	乳児保育Ⅰ		2
	乳児保育Ⅱ		1
	子どもの健康と安全		1
	子育て支援		1
	児童館の機能と運営		2
	子ども教育学演習Ⅰ	4	
	子ども教育学演習Ⅱ	4	

※カリキュラムは変更となる場合があります。
※小学校教諭一種免許状及び児童厚生一級指導員は 3年次編入学で取得することはできません。

心理学部

心理学科

※1　コースは入学後に選択します。
※2　公認心理師　国家試験受験資格の取得を希望する場合は、原則として3年間の在学が必要となります。また、公認心理師　国家試験受験資格取得には、大学・大学院で所定の科目を修める必要があります。
※3　「公認心理師　国家試験受験資格（学部の要件）」は最大45名取得可能です。
※4　教員免許の取得を希望する場合は、原則として3年間の在学が必要となります。

対人関係、心身、社会を健康にする手段を学び、幅広い分野で心理学を活かせる人材へ。
教員免許の取得も可能。国内初の心理系国家資格、公認心理師にも対応。

公認心理師コース

臨床の現場で活躍できる心理カウンセラーを目指す。

●公認心理師　国家試験受験資格※
※受験資格取得には、大学・大学院で所定の科目を修める必要があります。

特別支援教育・心理コース

ますます高まる特別支援ニーズに応える。

犯罪臨床心理学コース

犯罪の心理メカニズムや被害者ケアについて学ぶ

カウンセリング心理学コース

より充実し生き生き働くための心理学を学ぶ。

ビジネス心理コース

心理学の視点で社会・ビジネスを促える。

全コース共通（公認心理師コースを除く）

●特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）
●高等学校教諭一種免許状（公民）　●中学校教諭一種免許状（社会）
●認定健康心理士　●認定心理士

専門教育科目の課程表　心理学科

	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択
専門科目	公認心理師の職責		2
	心理学概論	2	
	臨床心理学概論		2
	心理学研究法	2	
	心理学統計法Ⅰ		2
	心理学統計法Ⅱ		2
	心理学実験Ⅰ		2
	心理学実験Ⅱ		2
	知覚・認知心理学		2
	学習・言語心理学		2
	感情・人格心理学		2
	神経・生理心理学		2
	社会・集団・家族心理学		2
	発達心理学総論		2
	障害者・障害児心理学		2
	心理的アセスメント		2
	心理学的支援法		2
	健康・医療心理学	2	
	福祉心理学	2	
	教育・学校心理学	2	
	司法・犯罪心理学	2	
	産業・組織心理学	2	
	人体の構造と機能及び疾病		2
	精神疾患とその治療		2
	関係行政論		2
	心理演習		2
	心理実習Ⅰ		1

	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択
専門科目	心理実習Ⅱ		2
	心理療法Ⅰ		2
	心理療法Ⅱ		2
	ボランティア活動論		2
	健康教育概論		2
	臨床コミュニティ心理学		2
	多変量解析		2
	質的研究法		2
	心理学特殊講義Ⅰ（キャリア・マネジメント）		2
	心理学特殊講義Ⅱ（臨床心理学総論Ⅰ）		2
	心理学特殊講義Ⅲ（臨床心理学総論Ⅱ）		2
	スポーツ心理学		2
	カウンセリング心理学		2
	健康心理学		2
	グループ・ダイナミックス		2
	心理薬理学		2
	ストレスマネジメント		2
	社会心理学		2
	対人援助の心理		2
	対人行動論		2
	ライフスタイル論		2
	ゲームプログラミング入門		2
	パーソナルブランディング		2
	感覚の心理学		2
	マーケティング心理学		2
	健康心理アセスメント実習		1
	ビジネス心理学入門		2

	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択
専門科目	クリエイティブ心理学		2
	ライフスタイルイノベーション		2
	癒やしの科学		2
	ポジティブ心理学		2
	企業コーチング心理学		2
	職場のメンタルヘルス		2
	心理学演習Ⅰ	4	
	心理学演習Ⅱ	4	
	日本国憲法		2
	経済学		2
	法学		2
	倫理学		2
	国際社会論		2
	環境経済論		2
	哲学		2
	地理学概論		2
	日本史概論		2
	外国史概論		2
	教育原理		2
	教職概論		2
	学習・発達論		2
	教育社会学		2
	教育制度論		2
	教育課程論		2
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		2
	教育方法論（情報通信技術の活用含む）		2
	生徒指導論（進路指導を含む）		2

	授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択
専門科目	教育相談の理論と方法		2
	特別支援教育		2
	知的障害者の心理・生理・病理		2
	肢体不自由者の心理・生理・病理		2
	病弱者の心理・生理・病理		2
	知的障害者の教育課程及び指導法		2
	肢体不自由者の教育課程及び指導法		2
	病弱者の教育課程及び指導法		2
	知的障害教育総論		2
	肢体不自由教育総論		2
	病弱教育総論		2
	自閉症児の心理・生理・病理		2
	障害児の教育と指導		2
	LD等教育総論		2
	発達障害論		2
	介護等体験		2
	社会科教育法Ⅰ（社会）		2
	社会科教育法Ⅱ（社会）		2
	道徳教育論		2
	公民科教育法Ⅰ（社会）		2
	公民科教育法Ⅱ（社会）		2
	教職実践演習（中等）		2
	教育実習事前・事後指導		1
	教育実習Ⅰ		4
	教育実習Ⅱ		2
	特別支援教育実習		3

※カリキュラムは変更となる場合があります。

令和7年度(2025年度)入試トピックス

■ 社会人授業料特別減額制度

入試種別を問わず、入学年度の4月1日現在の年齢が満30歳以上、満44歳以下の入学者は年間授業料の半額、満45歳以上の入学者は年齢×10,000円(減額の上限は年間700,000円)を年間授業料から2年間減額します。詳しくはP.16を参照してください。

■ オープンキャンパス参加者検定料減額制度

オープンキャンパス参加者は、入試の検定料を5,000円減額します。

単位認定について

出身学部、学科を問わず、60単位を原則として一括認定します。
外国語に関しては、本学での編入学生については、1単位を卒業要件としており、その単位数を充たしていない場合には、編入学後に不足分を新たに履修することになりますが、それも2年間で十分に修得可能です。

募　集　人　員

学　部	学　科	募集人員	編入年次
人間科学部	社会福祉学科	若干名	第３年次
	子ども教育学科	若干名	
心理学部	心　理　学　科	若干名	

令和7年度(2025年度)入試スケジュール

３年次編入学試験

入試種別	3年次編入学試験（Ⅰ期）	3年次編入学試験（Ⅱ期）
試　験　日	令和6年10月12日（土）	令和7年2月8日（土）
出願期間	令和6年9月20日（金）～10月3日（木） （10月3日消印有効）	令和7年1月17日（金）～1月30日（木） （1月30日消印有効）
試　験　場	本　学（庄屋学舎）	
出願区分	他大学との併願可	
選考方法	小論文･面　接	
合格発表	令和6年11月1日（金）	令和7年2月13日（木）
入学手続	〈1次（入学金）〉令和6年11月8日（金）まで 〈2次（授業料等）〉令和6年11月22日（金）まで	〈1次（入学金）〉令和7年2月21日（金）まで 〈2次（授業料等）〉令和7年3月7日（金）まで

３年次編入学試験（社会人）

入試種別	3年次編入学試験（社会人　Ⅰ期）	3年次編入学試験（社会人　Ⅱ期）
試　験　日	令和6年10月12日（土）	令和7年2月8日（土）
出願期間	令和6年9月20日（金）～10月3日（木） （10月3日消印有効）	令和7年1月17日（金）～1月30日（木） （1月30日消印有効）
試　験　場	本　学（庄屋学舎）	
出願区分	他大学との併願可	
選考方法	志望理由書･面　接	
合格発表	令和6年11月1日（金）	令和7年2月13日（木）
入学手続	〈1次（入学金）〉令和6年11月8日（金）まで 〈2次（授業料等）〉令和6年11月22日（金）まで	〈1次（入学金）〉令和7年2月21日（金）まで 〈2次（授業料等）〉令和7年3月7日（金）まで

３年次編入学試験（ファミリー）

入試種別	3年次編入学試験（ファミリー　Ⅰ期）	3年次編入学試験（ファミリー　Ⅱ期）
試　験　日	令和6年10月12日（土）	令和7年2月8日（土）
出願期間	令和6年9月20日（金）～10月3日（木） （10月3日消印有効）	令和7年1月17日（金）～1月30日（木） （1月30日消印有効）
試　験　場	本　学（庄屋学舎）	
出願区分	専　願	
選考方法	志望理由書･面　接	
合格発表	令和6年11月1日（金）	令和7年2月13日（木）
入学手続	〈1次（入学金）〉免除 〈2次（授業料等）〉令和6年11月22日（金）まで	〈1次（入学金）〉免除 〈2次（授業料等）〉令和7年3月7日（金）まで

※外国人留学生入試等の特別入試については、入試広報センターに問い合わせてください。
※合否結果の照会は合格発表日の 18:00 から出願ページ（Post@net）で確認することができます。（P.13 参照）

検 定 料

3年次編入学試験	30,000円

※一旦納入された検定料は返還しません。ただし、次の事由に該当する場合は申請により返還することがあります。
(1) 検定料を納入したが、出願手続を完了しなかった場合
(2) 出願が受理されなかった場合
(3) 検定料を誤って二重もしくは過剰に納入した場合
(4) 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ等）に罹患して受験ができず、他の入試種別への受験の振替ができなかった場合

アドミッション･ポリシー(入学者受入方針)

本学では「建学の精神『敬･信･愛』を継承し、自立と共生の心を培う人間教育を行う」を教育理念とし、「課題解決能力と対人援助の専門知識･技術を持つ人間味豊かな人材の育成」を教育の目的としています。

これを実現するために、"求める学生像"と"身につけておくことが望ましい素養"を公表し、入学後の教育との関連性を十分に踏まえた選考を行うことにより、受験者の主体的な意欲を重んじつつ能力･適性を多面的に評価します。

人間科学部

求める学生像

1.好奇心が強く、自ら学ぶ意欲と向上心をもっている人
2.異なる意見にも耳を傾け、豊かな人間関係が作れる人
3.体験することの重要性を認識し、積極的に社会参加する人
4.本学で学ぶことを強く希望し、将来、社会の幅広い分野で活躍したいと考えている人

身につけておくことが望ましい素養

1. 対人援助の専門職を目指す上で必要となる、コミュニケーション能力を有していること
2. 上記のコミュニケーション能力の基礎となる語学力（国語力）を有していること
3. 論文･レポート･実習日誌等を作成するための表現力の基礎や、専門書等の文献の読解力の基礎を身につけておくことが望ましいので、国語全般にわたり、十分な基礎学力を有していること

【社会福祉学科】

1.一人ひとりの住民と、その人々を取り巻く生活環境との間で生じる生活課題を解決するための基盤となる、福祉･介護に関する基礎知識あるいは社会の問題を読解する力を身につけようとする人
2.多様な個人の幸福の追求を支える、誰にとっても生きやすい社会の幸福とは何かを考え、考えた結果を他者に伝える力を身につけようとする人
3.自らの知識技術だけでなく人間性も活かして支援を行う意欲と、地域社会あるいは他者へ貢献する意欲を持つ人
4.将来、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、スクールソーシャルワーカー資格の取得を希望し、福祉の専門職として活躍する意欲を有する人

【子ども教育学科】

1.人間に対する深い愛情に基づき、また言語的コミュニケーションを大切にしながら、自己理解及び他者理解を深めていける人
2.子どもを取り巻く環境に強い関心をもち、保育･教育に関する専門的知識や技能を学修し、将来、保育、初等教育(幼児教育含む)等、子どもに関する職業に就きたいと考えている人
3.人間そのものや人間の育ちを科学的に理解しようとする態度を身につけようとしている人
4.人のために労を惜しまず、自ら主体的に動くことができ、広く社会に貢献したいと望んでいる人

心理学部

求める学生像

1.好奇心が強く、自ら学ぶ意欲と向上心をもっている人
2.異なる意見にも耳を傾け、豊かな人間関係が作れる人
3.体験することの重要性を認識し、積極的に社会参加する人
4.本学で学ぶことを強く希望し、将来、「心理および教育」等の分野で活躍したいと考えている人

身につけておくことが望ましい素養

1.対人援助の専門職を目指す上で必要となる、コミュニケーション能力を有していること
2.上記のコミュニケーション能力の基礎となる語学力（国語力）を有していること
3.論文･レポート･実習日誌等を作成するための表現力の基礎や、専門書等の文献の読解力の基礎を身につけておくことが望ましいので、国語全般にわたり、十分な基礎学力を有していること

【心理学科】
1.人々の心の健康の回復・維持・増進に関心を持ち、心の健康に関する科学的知識の修得を強く希望している人
2.自己を成長させ、可能性・視野をひろげたい人
3.公認心理師や教職等の資格の取得を目指して専門的技能習得に努力する人
4.社会病理と非行・犯罪などの逸脱行動について関心を持つ人
5.ビジネスにおいて顧客とのコミュニケーションを通して価値を創造（マーケティング）していける人

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

人間科学部

1.人間・社会への幅広い理解と、その中で自らの果たすべき役割を認識できるように、人間科学の学際的特徴を活かした基礎科目を設置している。
2.対人援助分野で将来活躍できるように、資格取得に軸をおいた充実した専門科目を設置している。
3.基礎学力から専門的技術までを着実に身につけられるように、1～4年次を通してのゼミ配置等少人数教育を重視している。
4.課題解決能力・コミュニケーション能力を身につけられるように、演習・実習を中心とした実践的な教育を重視している。

【社会福祉学科】
1.「福祉マインド」「社会福祉学固有の能力」「市民性」を身につけるために、文献読解や支援技術の修得に特化した少人数制の演習・実習科目を配置して、自己覚知や他者理解を含めた内面的成長までも視野に入れて科目を編成している。
2.社会の変化の中で生じている多様な自立の困難を示す課題に対して、社会福祉で実現すべき価値が提起できるよう、その力を養成できる科目を編成している。
3.「福祉マインド」を持った市民として、個人の尊厳や多様性を尊重しつつ、社会の連帯に基づいた共生社会の実現に貢献できることを目指すために、必要な基礎力が修得できるよう科目を編成している。

【子ども教育学科】
1.保育者・教育者として求められる基礎基本を培う理論系の専門科目に関しては、学修効果が最適となるよう配当年次を考慮して設置している。
2.保育者・教育者としての実践的指導や援助方法を身につけるための保育内容系科目、小学校教科目、また技術系科目を少人数の演習形態で設置している。
3.保育実習や教育実習等の学外実習指導を段階的、計画的に実施し、その事前事後指導の充実を図る科目を設置している。
4.基礎的技術と理論の学修を交互に実施し、学修した基礎的技術に基づき理論を学修できる、そして学修した理論から基礎的技術をさらに高めていく、こうした往還的な学修が可能なカリキュラムを編成している。
5.保育・教育実践の中で学修した知見や課題を、学修者相互で学びあうことができる科目を編成している。

心理学部

1.人間・社会への幅広い理解と、その中で自らの果たすべき役割を認識できるように、人間科学の学際的特徴を活かした基礎科目を設置している。
2.心理専門職として、あるいは教師として将来活躍できるように、資格取得に軸をおいた充実した専門科目を設置している。
3.基礎学力から専門的技術までを着実に身につけられるように、1～4年次を通してのゼミ配置等少人数教育を重視している。
4.課題解決能力・コミュニケーション能力を身につけられるように、演習・実習を中心とした実践的な教育を重視している。

【心理学科】
1.学際的に幅広く学び、心理学的な視点と思考力を身につけるための講義・演習を中心としたカリキュラムを編成している。
2.科学的方法論を学び、実践的な課題解決能力とコミュニケーション能力を身につけるための現場に即した学内・外実習を設置している。
3.心理専門職に必要な基礎から専門的知識までを着実に身につけられるように、少人数教育を重視する。
4.公認心理師を目指す人、教職を目指す人、心理系資格取得を目指す人等のために、各種資格取得可能な科目を設置している。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

人間科学部

1.社会で活躍・貢献しうる職業人として、人間・社会への幅広い理解を踏まえた専門的な知識・技術を身につける。
2.自立した自己と他者への寛容さに根ざした、実践的な課題解決能力とコミュニケーション能力を身につける。
3.共生社会の実現を目指し、チャレンジ精神を持った豊かな人間性を身につける。

【社会福祉学科】
1.個人の幸福の追求を支える、誰にとっても生きやすい社会の幸福を追求し、人間の尊厳や共生社会などの価値を踏まえて自ら行動する「福祉マインド」を身につける。
2.対人援助において、社会福祉が実現すべき価値・理念が提起できるよう、「ソーシャルワーカー・ケアワーカー（社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・スクールソーシャルワーカー）」として求められる能力」を身につける。
3.社会の公共的課題解決に向けて、さまざまな活動に積極的に参加し、多様な価値観のもとで連携を進められる「市民性」を身につける。

【子ども教育学科】
1.確固たる基礎基本に基づき、保育・教育を実践する力を身につける。
2.一人ひとりの子どもの成長・発達を援助する知識・技術を獲得している。
3.専門職意識を醸成し、保育・教育を創造・探究し続け、自らの言葉で語ることができる。
4.保育・教育を取り巻く課題の解決に向けて、連携・協働する力を身につける。
5.「子どもの最善の利益」を追求し続ける精神を獲得している。

心理学部

1.社会で活躍・貢献しうる職業人として、人間・社会への幅広い理解を踏まえた専門的な知識・技術を身につける。
2.自立した自己と他者への寛容さに根ざした、実践的な課題解決能力とコミュニケーション能力を身につける。
3.共生社会の実現を目指し、チャレンジ精神を持った豊かな人間性を身につける。

【心理学科】
1.自分自身や他者の心の健康の回復・維持・増進に貢献できる心理学の知識と能力を身につける。
2.実践的な課題解決能力とコミュニケーション能力を身につける。
3.自分で設定した課題を科学的視点から総合的にまとめる能力を身につける。
4.心理専門職として幅広い知識と技能を身につける。

3年次編入学試験

出願資格・条件

次の①～⑥のいずれかに該当する者で、⑦を充たす者
①大学を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
②大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者及び令和7年3月に大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの者
③短期大学を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
④高等専門学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
⑤高等学校の専攻科、中等教育学校の後期課程の専攻科及び特別支援学校の専攻科（修業年限2年以上で、その他の文部科学大臣の定める基準を充たす者に限る。）を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
⑥専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を充たす課程（修業年限2年以上で、総授業時間数1,700時間以上）を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者、ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。
⑦本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）を十分に理解している者

入　試　日　程

入試種別	出願期間	試験日	試験場	集合時間
Ⅰ期	令和6年9月20日（金）～10月3日（木） （10月3日消印有効）	令和6年10月12日（土）	本　学 （庄屋学舎）	12:40までに着席
Ⅱ期	令和7年1月17日（金）～1月30日（木） （1月30日消印有効）	令和7年2月8日（土）		

選　考　方　法

本学が実施する小論文の得点及び面接の得点による集計点で合否を判定します。

選考方法	配　点	内　容	時　間
小　論　文	100点	課題文方式	13:00～14:10
面　　接	100点	個人面接	14:30から順次実施

小論文について

科　目	方　式	内　容
小論文	課題文方式	試験当日に発表される課題文を読み、それに関連するテーマについて、600字以上800字以内で記述する。（句読点及び段落のための余白も字数に含む。）

面接について

受験者1名に対し、本学の担当者2名の個人面接（30分程度）です。
なお、スポーツ・文化活動やボランティア活動などの諸活動、制作物など、その実績、資格、特技等をアピールするものがあれば、面接において示すことも可能です。

出　願　書　類

P.9～12を参照し、出願登録の完了、検定料を支払った後、下記の①～④を市販の角2封筒に入れ、封筒貼付用宛名ラベルを貼り付けて、簡易書留の速達で郵送してください。

①入学志願票　インターネット出願サイト（Post@net）から印刷したもの。
②卒業証明書　出身学校の卒業証明書
卒業見込みの場合は、卒業見込証明書、大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの場合は、在学証明書を提出してください。
③成績証明書　出身学校の成績証明書
大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの場合は、単位修得見込証明書も併せて提出してください。
④受験資格証明書（出願資格 条件③又は⑤該当者のみ）　本学所定の用紙＊で文部科学大臣が定める基準を充たす課程を修了したこと、又は修了見込みであることを校長名で証明する証明書を提出してください。

＊本学所定の用紙については本学ホームページからダウンロードしてください。

合　格　発　表

合否結果の照会は合格発表日の18:00から出願ページ（Post@net）で確認することができます。
合格者には「合格通知書」及び「入学手続書類」を送付します。不合格については出願ページ（Post@net）上の合否結果照会での発表をもってこれに代えますので、不合格通知書の送付は行いません。

入試種別	合格発表
Ⅰ期	令和6年11月1日（金）
Ⅱ期	令和7年2月13日（木）

入　学　手　続

下記の納入期限までに、所定の入学手続時納入金を納入してください。（P.15参照）
なお、納入方法及び手続書類の提出の詳細については、入学手続書類送付の際にお知らせします。

入試種別	種　別	納入期限
Ⅰ期	1次（入　学　金）	令和6年11月8日（金）まで
	2次（授業料等）	令和6年11月22日（金）まで
Ⅱ期	1次（入　学　金）	令和7年2月21日（金）まで
	2次（授業料等）	令和7年3月7日（金）まで

3年次編入学試験（社会人）

出願資格・条件

次の①又は②の条件を充たし、③～⑧のいずれかに該当する者で、⑨を充たす者
①令和7年4月1日現在において満24歳以上で、社会人として2年以上の経験を有する者
②本学において①と同等以上の資格があると認めた者
③大学を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
④大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者及び令和7年3月に大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの者
⑤短期大学を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
⑥高等専門学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
⑦高等学校の専攻科、中等教育学校の後期課程の専攻科及び特別支援学校の専攻科（修業年限2年以上で、その他の文部科学大臣の定める基準を充たす者に限る。）を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
⑧専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を充たす課程（修業年限2年以上で、総授業時間数1,700時間以上）を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者、ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。
⑨本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）を十分に理解している者

入試日程

入試種別	出願期間	試験日	試験場	集合時間
Ⅰ期	令和6年9月20日（金）～10月3日（木）（10月3日消印有効）	令和6年10月12日（土）	本学（庄屋学舎）	集合時間は、受験者ごとに異なります。 デジタル受験票送付時に受験者個々に通知します。
Ⅱ期	令和7年1月17日（金）～1月30日（木）（1月30日消印有効）	令和7年2月8日（土）		

選考方法

出願時に提出する志望理由書の得点及び本学が実施する面接の得点による集計点で合否を判定します。

選考方法	配点	内容	時間
志望理由書	50点	※下記参照	―
面接	100点	個人面接	面接の開始時間は、受験者個々に通知

志望理由書について

志望する学科の教育内容や、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）を十分に理解した上で、「目指す進路」や「これまでの学習活動や社会人としての経験や実績」について、これまでの様々な経験から身に付けてきた知識や技術、姿勢や態度等が将来の目標実現に向けてどう結びつくかを考えて作成してください。

面接について

受験者1名に対し、本学の担当者2名の個人面接（30分程度）です。
なお、スポーツ・文化活動やボランティア活動などの諸活動、制作物など、その実績、資格、特技等をアピールするものがあれば、面接において示すことも可能です。

出願書類

P.9～12を参照し、出願登録の完了、検定料を支払った後、下記の①～⑥を市販の角2封筒に入れ、封筒貼付用宛名ラベルを貼り付けて、簡易書留の速達で郵送してください。

①入学志願票　インターネット出願サイト（Post@net）から印刷したもの。
②卒業証明書　出身学校の卒業証明書
卒業見込みの場合は、卒業見込証明書、大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの場合は、在学証明書を提出してください。
③成績証明書　出身学校の成績証明書
大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの場合は、単位修得見込証明書も併せて提出してください。
④受験資格証明書（出願資格・条件②又は③該当者のみ）　本学所定の用紙＊で文部科学大臣が定める基準を充たす課程を修了したこと、又は修了見込みであることを校長名で証明する証明書を提出してください。
⑤履歴書　本学所定の用紙＊に必要事項をすべて正確に記入してください。
⑥志望理由書　本学所定の用紙＊を使用してください。

＊本学所定の用紙については本学ホームページからダウンロードしてください。

合格発表

合否結果の照会は合格発表日の18:00から出願ページ（Post@net）で確認することができます。
合格者には「合格通知書」及び「入学手続書類」を送付します。不合格については出願ページ（Post@net）上の合否結果照会での発表をもってこれに代えますので、不合格通知書の送付は行いません。

入試種別	合格発表
Ⅰ期	令和6年11月1日（金）
Ⅱ期	令和7年2月13日（木）

入学手続

下記の納入期限までに、所定の入学手続時納入金を納入してください。（P.15参照）
なお、納入方法及び手続書類の提出の詳細については、入学手続書類送付の際にお知らせします。

入試種別	種別	納入期限
Ⅰ期	1次（入学金）	令和6年11月8日（金）まで
	2次（授業料等）	令和6年11月22日（金）まで
Ⅱ期	1次（入学金）	令和7年2月21日（金）まで
	2次（授業料等）	令和7年3月7日（金）まで

3年次編入学試験（ファミリー）

出願資格・条件

次の①～⑥のいずれかに該当する者で、⑦～⑨を充たす者
①大学を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
②大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者及び令和7年3月に大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの者
③短期大学を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
④高等専門学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
⑤高等学校の専攻科、中等教育学校の後期課程の専攻科及び特別支援学校の専攻科（修業年限2年以上で、その他の文部科学大臣の定める基準を充たす者に限る。）を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
⑥専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を充たす課程（修業年限2年以上で、総授業時間数1,700時間以上）を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者、ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。
⑦本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）を十分に理解している者
⑧志願者本人が薫英学園の卒業生（幼稚園を除く。）又は3親等以内の親族に薫英学園の卒業生（幼稚園を除く。）若しくは在学生（幼稚園を除く。）がいる者で、本学の「建学の精神」を理解している者
⑨合格すれば必ず本学に入学する者

入試日程

入試種別	出願期間	試験日	試験場	集合時間
Ⅰ期	令和6年9月20日（金）～10月3日（木）（10月3日消印有効）	令和6年10月12日（土）	本学（庄屋学舎）	集合時間は、受験者ごとに異なります。 デジタル受験票送付時に受験者個々に通知します。
Ⅱ期	令和7年1月17日（金）～1月30日（木）（1月30日消印有効）	令和7年2月8日（土）		

選考方法

出願時に提出する志望理由書の得点及び本学が実施する面接の得点による集計点で合否判定します。

選考方法	配点	内容	時間
志望理由書	50点	※下記参照	―
面接	100点	個人面接	面接の開始時間は、受験者個々に通知

志望理由書について

志望する学科の教育内容や、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）を十分に理解した上で、「目指す進路」や「これまでの学習活動や課外活動」について、これまでの様々な経験から身に付けてきた知識や技術、姿勢や態度等が将来の目標実現に向けてどう結びつくかを考えて作成してください。

面接について

受験者1名に対し、本学の担当者2名の個人面接（30分程度）です。
なお、スポーツ・文化活動やボランティア活動などの諸活動、制作物など、その実績、資格、特技等をアピールするものがあれば、面接において示すことも可能です。

出願書類

P.9～12を参照し、出願登録の完了、検定料を支払った後、下記の①～⑥を市販の角2封筒に入れ、封筒貼付用宛名ラベルを貼り付けて、簡易書留の速達で郵送してください。

①入学志願票　インターネット出願サイト（Post@net）から印刷したもの。
②卒業証明書　出身学校の卒業証明書
卒業見込みの場合は、卒業見込証明書、大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの場合は、在学証明書を提出してください。
③成績証明書　出身学校の成績証明書
大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの場合は、単位修得見込証明書も併せて提出してください。
④受験資格証明書（出願資格・条件②又は③該当者のみ）　本学所定の用紙＊で文部科学大臣が定める基準を充たす課程を修了したこと、又は修了見込みであることを校長名で証明する証明書を提出してください。
⑤続柄についての申告書　本学所定の用紙＊に必要事項をすべて正確に記入してください。
⑥志望理由書　本学所定の用紙＊を使用してください。

＊本学所定の用紙については本学ホームページからダウンロードしてください。

合格発表

合否結果の照会は合格発表日の18:00から出願ページ（Post@net）で確認することができます。
合格者には「合格通知書」及び「入学手続書類」を送付します。不合格については出願ページ（Post@net）上の合否結果照会での発表をもってこれに代えますので、不合格通知書の送付は行いません。

入試種別	合格発表
Ⅰ期	令和6年11月1日（金）
Ⅱ期	令和7年2月13日（木）

入学手続

下記の納入期限までに、所定の入学手続時納入金を納入してください。（P.15参照）
なお、納入方法及び手続書類の提出の詳細については、入学手続書類送付の際にお知らせします。

入試種別	種別	納入期限
Ⅰ期	1次（入学金）	免除
	2次（授業料等）	令和6年11月22日（金）まで
Ⅱ期	1次（入学金）	免除
	2次（授業料等）	令和7年3月7日（金）まで

インターネット出願の流れ

STEP1　出願に必要な書類などを準備

卒業証明書	出身学校の卒業証明書。卒業見込みの場合は、卒業見込証明書、大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの場合は、在学証明書を提出してください。
成績証明書	出身学校の成績証明書。大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの場合は、単位取得見込証明書も併せて提出してください。
写真データ	出願登録を行う際、受験者本人であることを証明できる顔写真データのアップロードが必要です。 出願登録前にデジタルカメラ･スマートフォン（写真データのダウンロードや取得ができるもの）等で撮影し、顔写真データを準備してください。 ●出願前3か月以内に撮影したもの ●上半身･無帽･無背景(白･青･グレーを基調とした無地の壁) ●正面向きの写真 ●縦:600px(ピクセル)×横:450px(ピクセル) ●写真データ形式は「JPEG」(ファイル拡張子はjpg) ●写真サイズは100KB以上3MB以下
その他	各入試種別で必要な出願書類を準備してください。

※入試種別により、必要な書類が異なります。
　出願に必要な書類に関しては、本要項又は本学ホームページで確認してください。
※本学所定の用紙については、本学ホームページからダウンロードしてください。

STEP2　アカウント作成、出願登録を行う

●大阪人間科学大学トップページ
https://www.ohs.ac.jp/

【 アカウント作成 】

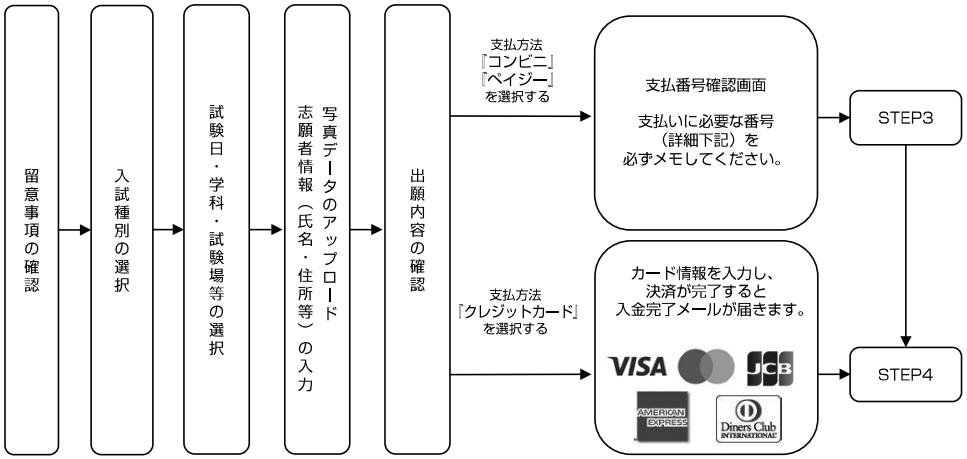
① 本学ホームページにアクセスしてください。
② 「インターネット出願サイト」にある「出願ページへ」をクリックして出願ページ(Post@net)を開きます。
③ 出願ページ(Post@net)のログイン画面より「新規登録」ボタンをクリックしてください。
④ 利用規約に同意後、メールアドレス ・ パスワード ・ ニックネームを入力して「登録」ボタンをクリックしてください。
⑤ 入力したメールアドレスに、仮登録メールが届きます。
　仮登録メールの受信から60分以内にメール本文のリンクをクリックして登録を完了させてください。

※ 既にアカウントを発行している場合はメールアドレスとパスワードでログインすることができます。

インターネット出願の流れ

●出願ページ（Post@net）のトップ画面にある「ログイン」ボタンをクリックし、メールアドレスとパスワードを入力します。
　登録したメールアドレスに認証コードが届きますので、入力しログインしてください。
●「学校一覧」から「大阪人間科学大学」を検索してください。その際に「お気に入り登録」ボタンをクリックしてお気に入り登録をしてください。

【出願登録】
　『出願登録』 ボタンをクリックし、画面の指示に従って登録してください。



・写真データについて
　写真データのアップロードを行う際には、データ形式の確認を行った上で（P.9 STEP1 参照）、必要なチェック項目を登録してください。

・検定料について
　支払金額は、入試種別やオープンキャンパスへの参加の有無によって異なります。画面の案内に沿って確認してください。

・オープンキャンパス参加者への検定料5,000円減額制度について
　入試種別選択ページにて入試種別を選択後、「オープンキャンパス参加者検定料減額制度を利用する」欄にチェックしてください。
　検定料減額制度番号を入力すると、検定料を5,000円減額します。

・薫英学園の卒業生（幼稚園を除く。）については、検定料を免除します。

POINT①
志願者情報の入力・確認画面では、必ず入力した内容（特に生年月日・電話番号・住所）に誤りがないか、十分に確認してください。志願者情報の確認画面を過ぎると内容の変更ができません。
修正が必要な場合は入試広報センターにお問い合わせください。
なお、コンビニ・ペイジー支払いの場合、検定料を支払う前であれば既に登録した出願情報を放棄し、もう一度、最初から出願登録を行ってください。

POINT②
支払い方法『コンビニ』『ペイジー』の場合は、支払番号確認画面に支払いに必要な番号が表示されます。
STEP3（P.11）の支払い時に必要ですので、必ずメモしてください。

STEP3 検定料を支払う （コンビニ・ペイジーを選択した場合のみ）

要注意

出願登録した翌日の23:59まで(出願登録期限日に出願登録した場合は当日の23:59まで)に、
下記の通り検定料をお支払いください。上記の支払い期限を過ぎますと、登録された内容での検定料支払いができなくなります。

■コンビニ

お支払いになるコンビニによって操作方法が異なりますので、「学校一覧」から「大阪人間科学大学」を検索し、「はじめに」ページにある検定料のお支払方法に関する内容を参照の上、必要な情報のメモ等をし、支払い期限までに検定料を支払ってください。

■ペイジー（銀行ATM）

ペイジー対応の銀行ATMを利用 → 料金払込（ペイジー）を選択（銀行ATMによってメニュー名称が異なります。上記はゆうちょ銀行の例。） → 収納機関番号・お客様番号・確認番号を入力 → 支払い方法選択（現金またはキャッシュカード） → 支払い

■ペイジー（ネットバンキング）

収納機関番号・お客様番号・確認番号を控え、各自で支払い方法を確認し検定料を支払ってください。

■払込手数料

入学検定料が3万円未満	600円（税込）
入学検定料が3万円以上	900円（税込）

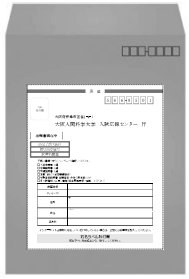
・検定料の他に別途、払込手数料が必要です。
・ご利用の銀行によって、別途事務手数料が発生する可能性があります。
・検定料支払いの領収書は提出不要です。控えとして保管してください。

POINT③ 入金が完了すると入金確認メールが通知されますので、必ず、ご確認ください。

STEP 4 出願書類を郵送する

入学志願票・封筒貼付用宛名ラベルを印刷

★支払い完了後、「出願内容一覧」から、入学志願票・封筒貼付用宛名ラベルを印刷してください。
★検定料の支払い後に届く、「インターネット出願　入金確認」メールに記載のURL、または出願ページ（Post@net）の「出願内容一覧」のいずれかにアクセスして入学志願票、封筒貼付用宛名ラベルをダウンロードし、**ページの拡大・縮小はせずにA4で印刷**してください。
★印刷した入学志願票と、各入試で必要な出願書類を同封して郵便局窓口から**簡易書留・速達**にて郵送してください。



市販の角２封筒に封筒貼付用宛名ラベルを貼り付けて必要書類を封入してください。

要注意

STEP１～STEP４を、すべて出願期間内に行うことによって、出願手続が完了します。
（出願登録・検定料支払い・出願書類提出のいずれかが出願期間内に行われなかった場合は、出願が受け付けられません。）
※出願の期限については、「出願期間」を十分に確認の上、できるだけ余裕をもって出願してください。

送付先
〒566-8501
大阪府摂津市正雀１-４-１
大阪人間科学大学　入試広報センター行

インターネット環境が整っていない方の出願方法

パソコン・スマートフォンなどのインターネット環境が整っていない方は、以下の2つの方法での出願が可能です。どちらかの方法を選んで出願してください。

（1）大阪人間科学大学へ来学し、大学のパソコンを利用して出願を行う。
・本学のパソコンを利用してインターネット出願を行います。来学の際は、事前に「氏名」、「来学予定時間」、「検定料の支払方法」を入試広報センターに電話で連絡の上、お越しください。
（月～金曜日8:45～17:15　土曜日8:45～14:45　※日･祝日及び冬季休業中を除く。）

（2）入学試験出願申請書を提出し、代行入力により出願を行う。
・「入学試験出願申請書」を請求、提出し、代行入力によりインターネット出願を行います。
「入学試験出願申請書」は入試広報センターへ電話にてご請求ください。
（月～金曜日8:45～17:15　土曜日8:45～14:45　※日･祝日及び冬季休業中を除く。）

STEP 5 デジタル受験票を印刷する

【受験票準備】 下記手順に従ってデジタル受験票を印刷してください。

※デジタル受験票のダウンロードは、試験日が設定されている週の木曜日（9:00）から可能です。
必要書類の受理が完了し、出願期間の締切が終了した後、本学にてデジタル受験票を一括して作成します。
インターネット出願時に志願者情報入力画面で入力したメールアドレス宛に「受験票ダウンロード案内メール」が届きます。

①Post@netへログインし「出願内容一覧」より大阪人間科学大学の「出願内容を確認」を選択し「デジタル受験票ダウンロード」をクリックして、PDFファイルをダウンロードします。
②①のPDFファイルをページの拡大・縮小はせずにA4で印刷してください。
③試験当日に必ず印刷したデジタル受験票を持参してください。

合否結果の照会

● 合否結果の照会は合格発表日の18:00から出願ページ(Post@net)で確認することができます。
下記手順に従って合否結果を確認してください。

・合格発表日に出願ページ(Post@net)へログインし、「学校一覧」から本学の「合否結果照会」を選択します。受験内容を確認し、間違いなければ「はい」をクリックして、合否結果を確認してください。

合格者には「合格通知書」及び「入学手続書類」を送付します。合格発表日から3日を経過しても入学手続書類等が届かない場合は、入試広報センター(TEL 06-6318-2020)に問い合わせてください。
また、不合格通知については上記の合否結果照会での発表をもってこれに代えますので、「不合格通知書」の送付は行いません。ご了承ください。

なお、「入学手続書類等の未着」以外の合否に関する問い合わせには、一切応じられません。

受験に当たっての主な注意事項

デジタル受験票について

①デジタル受験票は出願期間の締切終了後、一括して作成し、インターネット出願時に志願者情報入力画面で入力したメールアドレス宛に「受験票ダウンロード案内メール」を送信します。
②デジタル受験票は原則として、「受験票ダウンロード案内メール」の通知を受け取った後、試験日が設定されている週の木曜日(9:00)からダウンロードが可能となります。試験日の2日前までに「受験票ダウンロード案内メール」が届かない場合は、入試広報センター(TEL 06-6318-2020)までご連絡ください。
③デジタル受験票に記載されている入試種別、住所、氏名等の内容に誤りがないか確認し、誤りがあれば入試広報センター(TEL 06-6318-2020)に申し出てください。

試験場の下見について

①試験場の下見は、試験前日までにしてください。(試験室の下見は、原則として認められません。)
②試験場は、デジタル受験票に記載して通知します。デジタル受験票に記載する所在地を確認してください。

試験当日の注意事項

①デジタル受験票は試験当日までに印刷(A4サイズ)し、試験当日に必ず持参してください。(試験終了後、デジタル受験票はそのままお持ち帰りください。合否結果照会の際に受験番号が必要となります。)
②試験当日は、集合時間(試験開始20分前)までに各自指定された試験室に入室し、机の上の受験番号がデジタル受験票の受験番号と同一であることを確認して、着席してください。
③デジタル受験票を持参し忘れた場合には、受付に申し出て仮受験票の交付を受けてください。
④試験開始時刻に遅刻した場合は、原則として試験開始時刻後20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
⑤自動車、バイク等での試験場構内への乗り入れを禁止します。
⑥学校保健安全法で出席停止が定められている感染症(インフルエンザ, 麻疹, 水痘, 新型コロナウイルス等)の感染防止のため、発熱・咳等の症状がある場合は、あらかじめ医療機関での受診をお願いします。

試験時間中の注意

①デジタル受験票は、必ず机の上に置いてください。
②デジタル受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、「黒鉛筆(HB・B・2B)」、「プラスチック製の消しゴム」、「鉛筆削り(電動式を除く。)」、「時計(計時機能だけのもの。)」、「眼鏡」です。
③アラーム機能のついた時計は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除してください。
④携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等の音の出る機器は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。アラームは、設定を解除しないと電源を切っていても鳴ることがありますので十分注意してください。
なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験場本部で当該試験時間終了まで保管します。
⑤「耳せん」は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。
⑥試験室内で、コート類を着用しても差し支えありません。英文字等がプリントされている上着等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
⑦「ハンカチ」「ティッシュペーパー」「座布団」「ひざ掛け」「目薬」の使用を希望する者は、監督者に申し出て許可を受けてから使用してください。
⑧試験時間中に写真照合のためにマスクを外すよう指示があった場合は、マスクを一旦外してください。
⑨解答用紙の所定欄に受験番号等を監督者の指示に従い、必ず記入してください。受験番号が正しく記入されていない場合は、採点できないことがあります。
⑩試験時間中は、退室を認めません。試験中の発病又はトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
ただし、一時退室が認められた場合でも、試験室以外での受験はできません。また、一時退室した分の試験時間の延長も認められません。
⑪試験時間中は、監督者の指示に従ってください。
⑫不正行為については、警察に被害届を提出する場合があります。

障がい等のある志願者の出願について

(1) 障がい等のある方で、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、入試広報センター(TEL 06- 6318-2020)に相談してください。(各入試種別の出願期間開始日の1か月前まで。)

(2) 特別な配慮を希望する場合でもご希望に添えないことがあります。ご了承ください。

入学手続時納入金及び学費等【令和7年度（2025年度）予定】

人間科学部／社会福祉学科

区分	科目		3年次編入学所要経費 入学手続時納入（前期）	3年次編入学所要経費 10月納入（後期）	3年次編入学所要経費 年額	4年次所要経費（年額）
学費	入学金		200,000円	—	200,000円	—
	授業料		445,000円	445,000円	890,000円	890,000円
	施設費		100,000円	100,000円	200,000円	200,000円
	小計		745,000円	545,000円	1,290,000円	1,090,000円
諸会費	教育後援会費		30,000円	—	30,000円	—
	関係費 学友会	学友会入会金	5,000円	—	5,000円	—
		学友会費	5,000円	—	5,000円	5,000円
		卒業アルバム代	10,000円	—	10,000円	—
	小計		50,000円	—	50,000円	5,000円
合計			795,000円	545,000円	1,340,000円	1,095,000円

①取得を希望する資格等により、実習費が必要です。
②上記の所要経費のほか、4年次には同窓会費（30,000円）及び卒業記念パーティー費用（10,000円）が必要です。（同窓会費は終身会費です。）
※入学手続時納入金及び学費等については予定であり、変更の可能性があります。

人間科学部／子ども教育学科

区分	科目		3年次編入学所要経費 入学手続時納入（前期）	3年次編入学所要経費 10月納入（後期）	3年次編入学所要経費 年額	4年次所要経費（年額）
学費	入学金		200,000円	—	200,000円	—
	授業料		445,000円	445,000円	890,000円	890,000円
	施設費		100,000円	100,000円	200,000円	200,000円
	教育充実費		13,000円	13,000円	26,000円	26,000円
	小計		758,000円	558,000円	1,316,000円	1,116,000円
諸会費	教育後援会費		30,000円	—	30,000円	—
	関係費 学友会	学友会入会金	5,000円	—	5,000円	—
		学友会費	5,000円	—	5,000円	5,000円
		卒業アルバム代	10,000円	—	10,000円	—
	小計		50,000円	—	50,000円	5,000円
合計			808,000円	558,000円	1,366,000円	1,121,000円

①教育充実費には「教育実習（幼稚園）」「保育実習Ⅰ」「保育実習Ⅱ」に係る実習費を含みます。
②上記の所要経費のほか、諸物品費、4年次には同窓会費（30,000円）及び卒業記念パーティー費用（10,000円）が必要です。（同窓会費は終身会費です。）
※入学手続時納入金及び学費等については予定であり、変更の可能性があります。

心理学部／心理学科

区分	科目		3年次編入学所要経費 入学手続時納入（前期）	3年次編入学所要経費 10月納入（後期）	3年次編入学所要経費 年額	4年次所要経費（年額）
学費	入学金		200,000円	—	200,000円	—
	授業料		445,000円	445,000円	890,000円	890,000円
	施設費		100,000円	100,000円	200,000円	200,000円
	小計		745,000円	545,000円	1,290,000円	1,090,000円
諸会費	教育後援会費		30,000円	—	30,000円	—
	関係費 学友会	学友会入会金	5,000円	—	5,000円	—
		学友会費	5,000円	—	5,000円	5,000円
		卒業アルバム代	10,000円	—	10,000円	—
	小計		50,000円	—	50,000円	5,000円
合計			795,000円	545,000円	1,340,000円	1,095,000円

①履修内容によって実習費等が必要です。
②上記の所要経費のほか、4年次に同窓会費（30,000円）及び卒業記念パーティー費用（10,000円）が必要です。（同窓会費は終身会費です。）
※入学手続時納入金及び学費等については予定であり、変更の可能性があります。

実習費

学科	実習種別	実習費
社会福祉学科	ソーシャルワーク実習Ⅰ（※現場体験学習）	1,500円
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	25,000円
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	58,500円
	精神保健福祉援助実習	60,000円
心理学科	教育実習（中学・高校）	40,000円
	特別支援教育実習	20,000円
	介護等体験	13,000円
	公認心理師実習	64,000円

※ 上記以外に諸経費として交通費・食事費（給食代）が必要となる場合があります。
※ 実習費については参考であり、変更の可能性があります。

社会人授業料特別減額制度について

入試種別を問わず、入学年度の4月1日現在の年齢が満30歳以上、満44歳以下の入学者は年間授業料の半額、満45歳以上の入学者は年齢×10,000円（減額の上限は年間700,000円）を年間授業料から2年間減額します。
（例）
入学年度の4月1日現在の年齢が満55歳で、入学する場合

890,000円（通常の年間授業料） － 550,000円（減額） ＝ 340,000円（年間授業料）

納入金の返還について

本学では、3年次編入学試験、3年次編入学試験（社会人）の合格者で、すべての入学手続が完了した者であっても、令和7年3月28日（金）までに入学辞退届の提出（郵送による提出の場合、3月28日必着）があった場合、入学金を除いた授業料等の納入金を返還します。
なお、入学金（200,000円）は、いかなる理由があっても返還いたしません。

奨学金制度

日本学生支援機構

日本学生支援機構による奨学金制度
1．貸与型奨学金（返還の必要あり）
①第一種（無利子貸与）
②第二種（有利子貸与）
- 募集時期　4月　※9月にも募集することがあります。
- 選考方法　学内で書類審査し、日本学生支援機構に推薦（最終選考は日本学生支援機構）
- 貸与金額　・第一種　自宅通学者　月額2万円、3万円、4万円、5万4,000円
  自宅外通学者　月額2万円、3万円、4万円、5万円、6万4,000円
  ・第二種　月額2万円～12万円（1万円単位）から選択が可能
- 返還方法　卒業後、口座振替で月賦、月賦・半年賦併用または年収に応じて算出された返還額（第一種のみ）のいずれかから選択（日本学生支援機構の規程）

2．給付型奨学金（原則、返還の必要なし）
- 給付金額　自宅通学者　月額9,600円、1万2,800円、2万5,600円、3万8,300円
  自宅外通学者　月額1万9,000円、2万5,300円、5万600円、7万5,800円
- 条件　学業成績等が一定の基準を満たしていること。併せて家計の基準もあります。

その他の奨学金
その他、地方自治体（都道府県・市町村）の奨学金制度や民間団体等の奨学金制度があります。募集案内があれば、随時、掲示にて連絡します。

教育ローン

（1）国の教育ローン（日本政策金融公庫）
①融資額　学生1人につき350万円以内
②返済期間　18年以内
③返済方法　毎月元利均等返済（ボーナス月増額返済も可能）
④申込み　日本政策金融公庫のほか、銀行、信用金庫、信用組合など窓口でも取り扱っています。
詳しくは、教育ローンコールセンター　TEL 0570-008656 に問い合わせてください。

（2）オリエントコーポレーション学費サポートプラン
学費負担者に代わり、オリコが学費を一括納入し、毎月所定の金額を返済する制度です。
①ウェブ又は電話での申込みが可能です。（オリコへの来店不要）
②原則として住民票等の公的書類及び所得が確認できる資料は不要です。
③返済は口座振替で、新規の口座開設は不要です。（ゆうちょ銀行も可）
問合せ先／申込み先　オリコ学費サポートデスク　TEL 0120-517-325

※上記ご案内はあくまで一例であり、ご利用については、学費負担者においてご検討ください。

Q & A

Q1 **面接ではどのようなことを聞かれるのですか？**

A1 本学への編入学を志願した理由や、充実した学生生活に向けての考え方などを聞きます。

Q2 **編入学生が不利になることはありませんか？**

A2 一般選抜などで入学した学生と比べ、編入学生が不利になることはありません。卒業に必要な必修科目等は、他の学生と同様ですが、各自の目的、志向に合わせて履修計画を立てて、将来の目標に向けて新たな能力を伸ばし、意欲的な取組によって、自分の可能性を更にひろげてください。

Q3 **編入学後の授業についていけるのか心配です。**

A3 編入学試験に合格し、入学後も意欲的に学ぶ姿勢があれば問題ないと考えています。
また、編入学生向けのガイダンス等を行うことによって、安心して修学できるようにサポートします。

Q4 **小論文の課題文方式とは、どのようなものですか？**

A4 試験当日に発表される課題文を読み、それに関するテーマについて、600 字以上 800 字以内で論述する方式です。受験者本人の「論理力」「表現力」「課題に対する把握力」等を見るものです。

Q5 **現在の姓と、提出書類の姓とが異なっているのですが、特別に必要な書類はありますか？**

A5 卒業証明書等の提出書類が旧姓（名）の場合は、出願の際に「～により（旧姓）から（現姓）になった」などのように、姓（名）が変わった理由を記載した理由書を添付してください。（「戸籍抄本」等の書類は不要です。）

「個人情報の取扱いについて」

本学では、志願者から入手した個人情報の取扱いについて、下記のとおりとします。
（1）出願により入手した住所、氏名、その他の個人情報については、①出願に不備等があった場合の連絡 ②合否の連絡 ③合格した場合の入学手続書類や、入学宣誓式等の案内の送付・連絡 ④入学後の各種案内の送付・連絡 ⑤入学後のクラス編成、クラス名簿作成を行うために利用し、それ以外の用途には一切使用しません。
（2）個人を特定しない形での統計処理結果については、パンフレット、ホームページ等で公表します。

MEMO